



Renew Farm ing ing

収穫日予測で
3年で稼げる産地に

INGEN



INGENが目指していること

「日本の農業を、生産者が稼げる業界にする」



稼げる産地づくりのために

10年かけて仕込みをしてきました

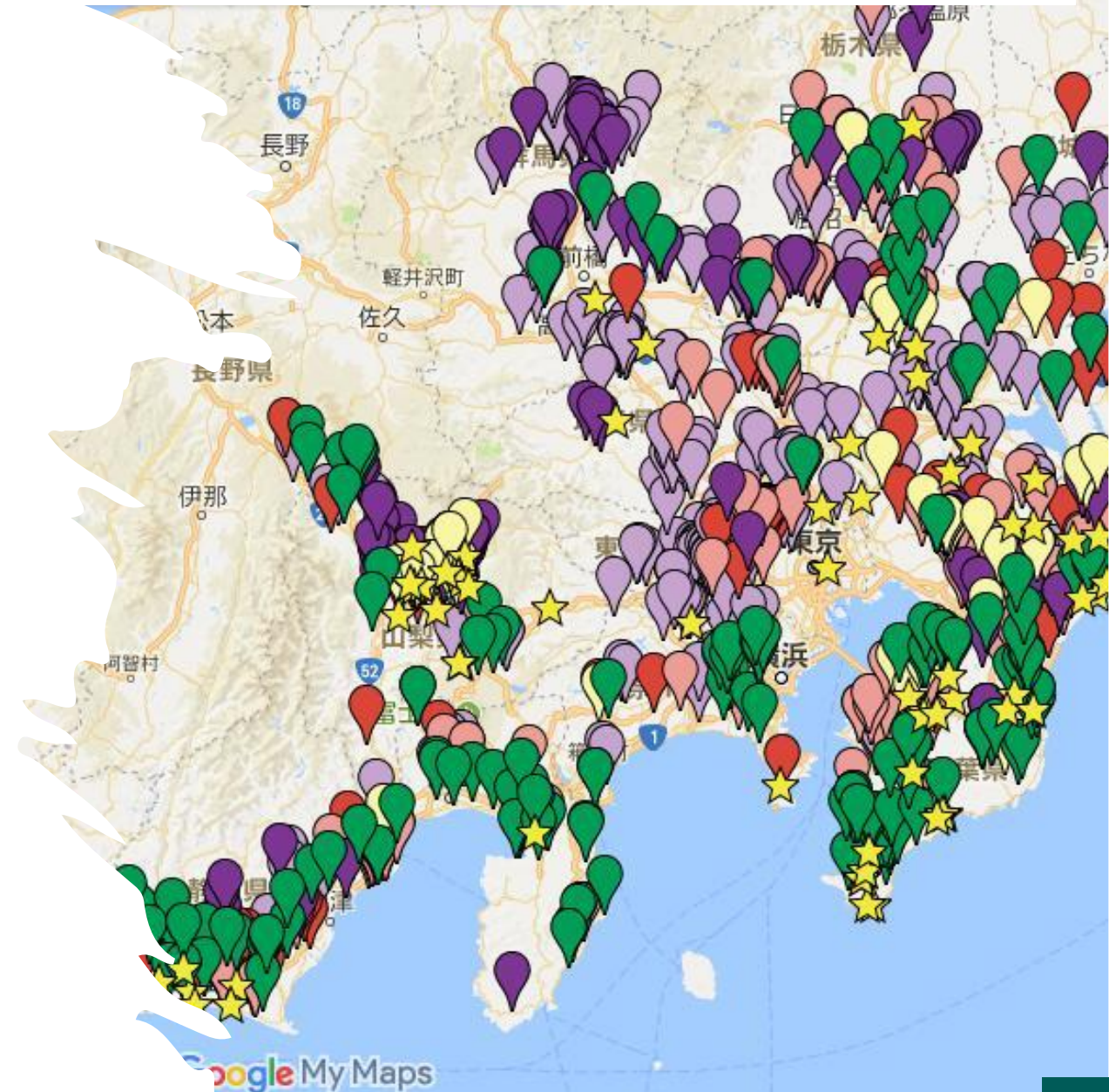
◆修業期間◆

創業1年目で 農家**1000軒**訪問

土壌医としての活動

肥料・農薬メーカー**30社**以上との取引実績

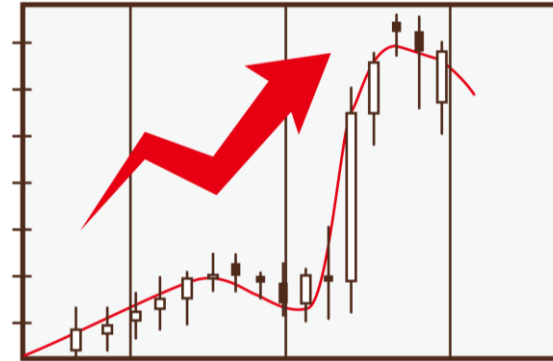
JAアクセラレータプログラム採択



間に入る組織（JA、民間）の種類は関係ない！



7 : 3

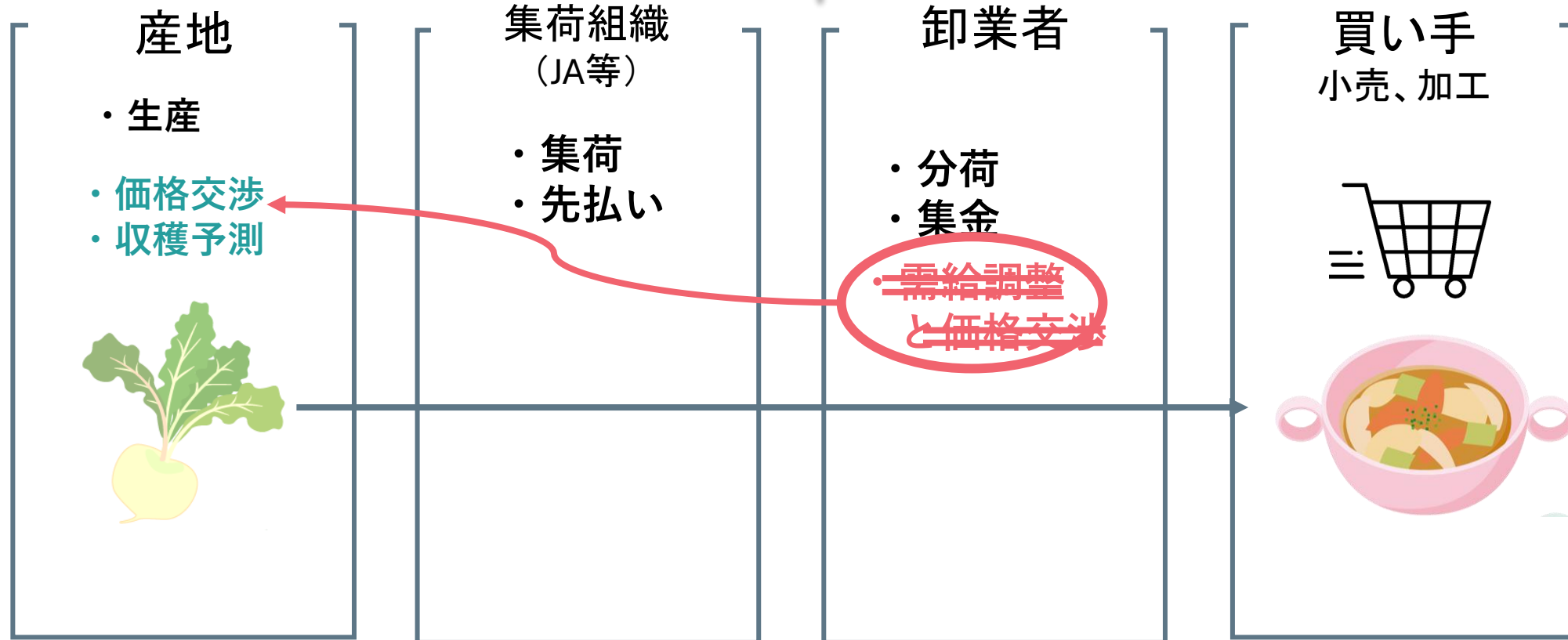


契約出荷（予約販売）
出荷時期・量を守る必要があるけど、
価格交渉権を持つことができる

市場出荷
いつでも買い取ってもらえるけれど、
価格は、市場相場に左右される

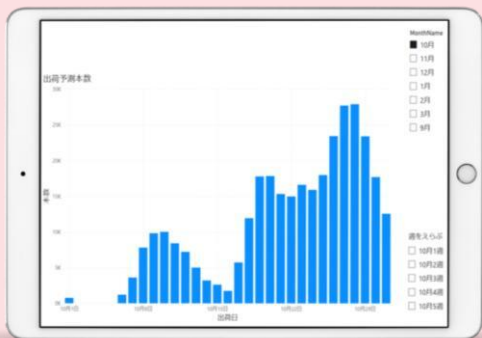
※一般的に、JAや自治体では予約販売と呼ぶ。

収穫予測で、需給調整が要らない
世界をつくる



収穫の見通しを
たてる

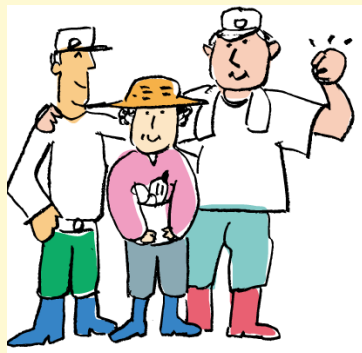
提供1
収穫予測



温暖化した気候に対応、
露地野菜で高い精度

同一品質で量（生産者）を
まとめる

提供2
売れる作物の
生産者集団づくり



提供3
マッチング支援

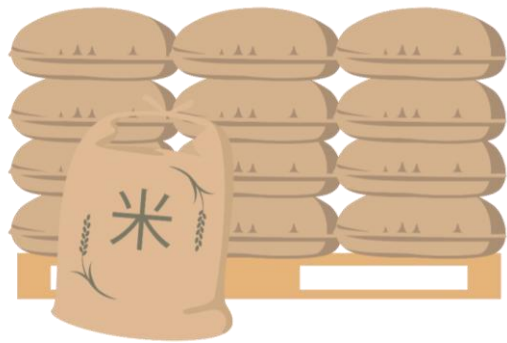
適作分析をもとに、
相性の良い販路の提案、
試験販売の支援

お米・りんごなど

貯蔵できる

→契約（出荷時期や量）を
守りやすい。

産地間競争も厳しい



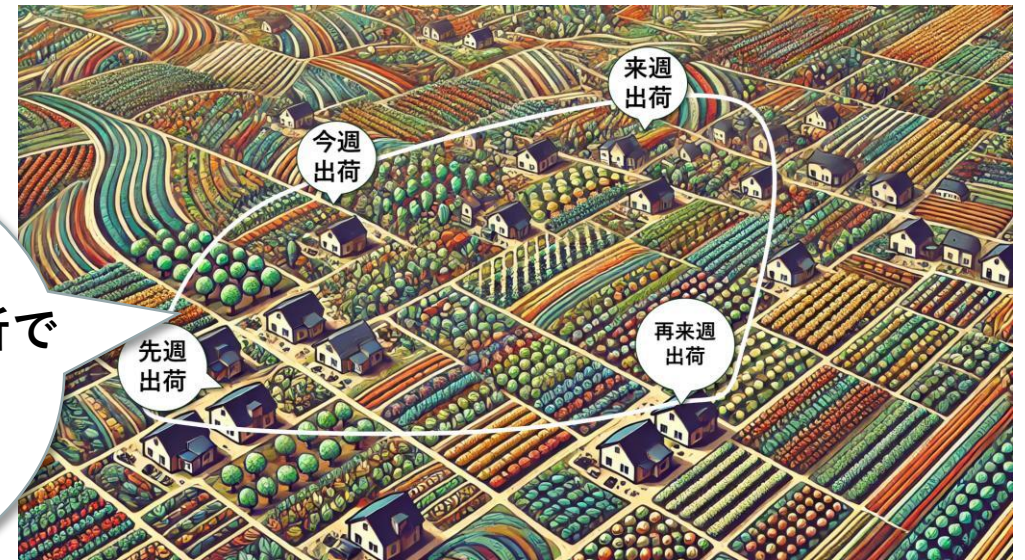
青果（足の速いやさい）

貯蔵できない

→毎日出荷し続ける産地が
良い契約を獲得できる

INGEN

収穫予測 & 適地分析で
毎日作れる産地に！

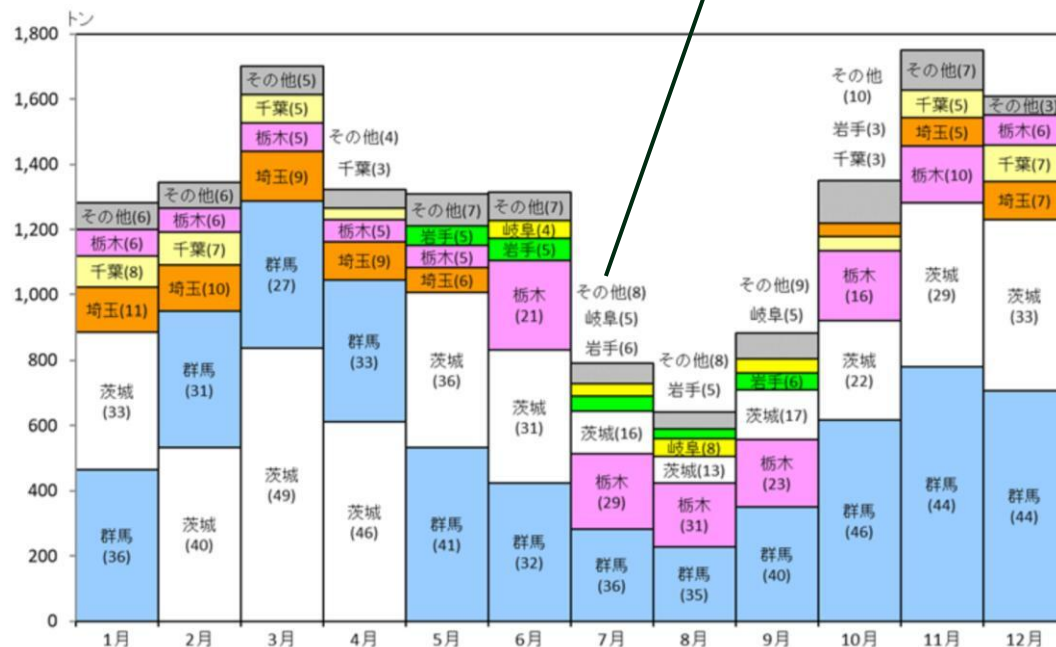


秋田県で行ったこと

温暖化により、東京近郊で栽培が難しくなっている、葉物野菜 秋田が、関東の産地のシェアを奪えるチャンス！！

ほうれんそう

どの産地も
安定して供給で
きていません



まだまだつづく、温暖化。
せっかく作るなら、この先秋田が関東ほど熱くなっても作り続けられる作物を、
先取りして産地化したら面白そう・・・！



苦くない・高栄養価なケール

1 生産性

ほんとに秋田で
夏につくれるか

大仙市の生産者さん

計5軒

2. 移行性

米を主とする秋田で、
導入しやすいか

全農秋田県本部
県農政課

3. 収益性

ほんとに
“儲けられる”か

(株) ロンド
ししゅえっとマルシェ

TDKフードサービス
タカヤナギ
農林中金
全農青果センター

1. 生産性の検証

☑秋田では、1年のうち、いつ産地化できそうか

仮説よりも、長い期間産地化ができそう！



☑収穫予測が成り立つか

「誤差±1日以内」予測式完成

今年の作で、現場で答え合わせします！

日数	予測日数	予実差
50	50.4	0.4
49	49.2	0.2
45	44.9	-0.1
46	45.6	-0.4
35	35.4	0.4
35	35.4	0.4

誤差1日以内

☑産地全体で品質をそろえる課題

水やりに課題あり。

(野菜になれていない、米農家さんで失敗例)

☑初期費用（本格的に始めるならいくら必要？）

20万円以内でできる

☑技術の取得

水やりと害虫対策は、マニュアルが必要そう！
（米と勝手が全然違うから）



水やりの失敗例（大きさがバラバラ）



☑人の確保

コメの余剰人材で回すことができそう！
（田植えと収穫までの間、時間に余裕ができるパートさんたちで賄える。）



子育てと仕事の両立
ホルモンバランスが崩れやすくなる
→ **G A B A とカルシウムがぴったり！**

☑消費者像をより具体的にして・・・

①どんな売り文句がよさそう？

②価格設定と最適な販路



3. 具体的な消費者像

アンケート結果から分かったこと
「健康にいい野菜を、無理なく取り入れたい！」



夫/子供が野菜嫌い。
子供が喜ぶ野菜なら
ちょっと高くても買う！！

ケールは健康にいいイメージは
あるけど、青汁は続けずらい

レシピ例

混ぜるだけ
無限ソフトケール



焼くだけ
ソフトケール生餃子



ちょっと高くても、いい野菜にお金を払う人が集まる場所

つつい「ちょっといい方」買っちゃう人が集まる売り場



社員のパフォーマンスが大事！
福利厚生としての導入



1袋 県内200円、都内300円

消費者と、販路の工夫次第で、
ほうれん草より高く設定できそう！



- ・ 仕入れしたい方
- ・ 健康野菜 ソフトケールでイベント集客したい方
ぜひお声がけください！